

平成 2 1 年度 実 施 事 業	事務事業名 障害者等生活支援経費
----------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	2	障害者（児）の自立促進
主要な施策	1	生活支援の充実
事務事業番号	034	事務事業コード 13321034 事業開始年度 平成 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	障害者等生活支援経費
------	------	------------	------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室 環境対策 G
-----	-------	-------	--------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> <p>市内に居住する重度心身障がい者（1級、2級）在宅世帯及び知的障がい者、65歳以上寝たきり老人世帯。ただし、生活保護を受けている世帯は除く。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> <p>年1回、該当する1世帯に対し家庭系指定ごみ袋30ℓ用20枚、し尿汲み取り世帯に対しし尿処理無料券1枚を交付する。</p>
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> <p>対象となる世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより福祉の増進を図る。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> <p>登別市家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料助成制度実施要綱</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	指定ごみ袋交付枚数	枚	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
			実績値	13,940	/	/	/	/
	し尿処理無料券交付枚数	枚	目標値	140	120	100	80	80
			実績値	143	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	55	131	1,021	1,021	1,021	3,063
合 計				55	131	1,021	1,021	1,021	3,063
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	431	452			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		431	452			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 民間等で類似した事業が無く、また民間で行う可能性も少ないため、行政主体で進める事業であるため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 新規申請者が多いが、助成世帯数は横ばい状態である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 対象者が重度心身障がい者及び知的障がい者、65歳以上寝たきり老人世帯であることから、弱者世帯への周知等の検討
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最小限の経費で実施しているため、これ以上の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	対象者が重度心身障がい者及び知的障がい者、65歳以上寝たきり老人世帯であることから、助成のたびに感謝の電話も受けており、その対象者及び世帯の経済的支援として必要な事業と考えている。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）